むさしの仕事図鑑

中学生記者が
仕事を体験します！

動物の飼育員ってどんなお仕事？

動物園には専門の飼育員さんがいて、毎日担当する動物のお世話をしています。どんな仕事をしているのか、井の頭自然文化園を訪ねて、仕事の体験をさせていただきました。

黄さん　どうして飼育員になろうと思ったのですか？

佐々木さん　小学生のときに読んだシャーロック・ホームズの本に動物が

動物の飼育に携わって35年。動物の飼育は大変ですが楽しいですよ。

ヤマネコ飼育員
佐々木真一（ささきしんいち）さん

私たちが体験しました！

将来は動物か昆虫関係の仕事に就きたいと思っているので、楽しみ！

市立第三中学校2年
生江健志郎（なまえけんしろう）さん
（美術部所属）

飼育員さんがどんな仕事をしているのか、とても興味があります。

市立第一中学校1年
黄智玧（ふぁんじゅん）さん
（コーラス部所属）

❶ 事前説明

天然記念物なので、国から預かって飼育していることを忘れずに。

力を入れてしっかりと

❷ 床の掃除

住み心地が良くなるように、また来園者が見てもキレイな獣舎に。

今回担当する獣舎

ヤマネコ

井の頭自然文化園では、国指定天然記念物「ツシマヤマネコ」を飼育しています。ツシマヤマネコは、長崎県の対馬にだけ生息している野生のネコで、ベンガルヤマネコの亜種。同じく亜種であるアムールヤマネコもここで飼育しています。

井の頭自然文化園
（御殿山1-17-6）

昭和17年開園。動物園のほかに彫刻園、資料館なども併設する“自然と文化が調和”した施設です。園内は、動物園と水生物園とに分かれ、合わせて200種類を超える生物を飼育。動物園では主に、日本に生息する動物を多数飼育しています。動物を身近に感じられる展示も行われており、「リスの小径」では放し飼いのニホンリスが足元を横切ったりします。また国内で最も飼育期間の長いアジアゾウの「はな子」もいます。

ツシマヤマネコについて学びました

ケージの外には、生息地や生態について知ることができる解説ビデオやパネルがあります。

野生のツシマヤマネコの生息数は、現在約100頭と推定されています。主にネズミや両生類、は虫類を餌にしていて、明け方や夕暮れに活発に動きます。交通事故に遭うことも多く絶滅が危惧されています。

出てきたことがきっかけで、動物に興味を持ちました。その後、大学で畜産学を勉強して、これを生かせる職業に就きたいと思い飼育員になりました。

生江さん　飼育員になって良かったと思うのは、どんなときですか？

佐々木さん　学生の頃から希望していた職業に就けたので、楽しく仕事をしています。だから毎日良かったと感じていることになるのかな。

黄さん　飼育が一番大変だった動物を教えてください。

佐々木さん　チンパンジーですね。まったく言うことを聞いてくれなくて大変でした。いつうまく仕事ができるようになるのかと思うと不安で、当時は夢にまで見てうなされてました。

黄さん　仲良くなるためにはどうすればいいのですか？

佐々木さん　チンパンジーなどは人間の3歳児程度の知能があります。ですからあいさつが特に大切なんです。ほかの動物も同様で、声をかけることでコミュニケーションをとっています。

生江さん　人間も動物も仲良くなる入口は一緒なんですね。

動物のことや飼育員さんの仕事のことなど、いろいろな話を聞きました。

仕事1　獣舎の清掃

❺ アムール ヤマネコ舎の掃除

床は水をかけながらブラッシング。ふんをトングですべて取ります。

❹ 繁殖施設の掃除

繁殖のため展示されていない4匹のツシマヤマネコのケージ（おり）も掃除します。

❸ 池の掃除

水を抜いて落ち葉を除き、コケをブラシで取って新しい水を張ります。

仕事2　動物の健康管理

❶ 舎内温度の記録

前日の最高温度と最低温度を記録し、終わったら温度計をリセットします。

❷ ふんの採集

ふんは健康のバロメーター。採取して体の状態をチェックします。

❸ 冷凍庫へ保管

ふんを冷凍保存。一定期間分を集めたら、まとめて検査機関に送付します。

仕事3　餌作り・餌やり

❶ ハンマーで細かくする

餌は肉類を解凍して作ります。鶏頭は解凍しながら、叩いて分けます。

❷ 規定の量に分ける

1匹分の餌は肉150g。ひと塊になるように切り出すには経験が必要！

❸ 餌やり

餌は1日1回。閉園後に寝室に戻って食べます。

感想

仕事は大変だろうなと予測していましたが、動物たちととても心が通じ合っているようで、やりがいや楽しさが伝わってきました。

展示の表側ではなく、飼育側を見ることができて勉強になりました。「日本産の動物を飼育する」というこだわりもあってすごいと思いました。

けっこう重い！

来園者には「東京動物園ボランティアーズ」の皆さんが、ツシマヤマネコと同じ体重のぬいぐるみを使って、分かりやすく展示解説をしてくれます。